



## 但馬水産技術センターだより



### 漁況情報 (G0805号)

平成20年 8月26日

兵庫県立農林水産技術総合センター  
但馬水産技術センター 発行

### ハタハタ・アカガレイ・エチゼンクラゲに関する情報について (平成20年度底びき漁期前調査結果)

8月4日に但馬沖、8月22日に大山沖の水深210～270mで、兵庫県漁業調査船「たじま」により、トロール網試験操業を実施しました。(図1)季節はずれの時化により、調査海域を大幅に縮小しての調査となりましたが、結果の概要は以下の通りです。

#### ハタハタに関する情報

- ・大山沖の水深210～230mで1曳網当たり100kg前後のややまとまった入網がありました。香住沖では昨年に引き続き入網量は少ない状況でした。(表1,図2)
- ・大山沖の入網量は昨年より少なめでした。(表2、但し、昨年の操業は1網のみ)
- ・入網したハタハタの主体は体長14～18cmの1、2才魚で(図3)大山沖は2歳魚の比率が高いようです。また水深240m以深では19～25cmの大型個体も認められました(図4)。
- ・大半の個体(体長14.5cm以上)では雌雄とも成熟が進んでいます。
- ・ヨコエビ類(*Themisto japonica*)をよく食べている個体(もの食い)は大山沖で多く、魚群は今暫く滞留する可能性があります。
- ・調査海域の海底水温は1.3～3.5で、最も入網量の多かったC240は1.8でした。(表1)

#### アカガレイに関する情報

- ・今回の調査エリアの中では但馬沖の水深210mにおいて、ややまとまった入網がありました。(表1,図6)調査水深帯では、昨年同様、大山沖より但馬沖に多く分布しています。
- ・漁獲物は体長20cm前後に一つのモードがあり、25cm前後のモードは目立たなくなっています。(図7)

#### エチゼンクラゲに関する情報

- ・今回の調査エリアにおいて、エチゼンクラゲの入網は全く認められませんでした。
- ・今年は中国沿岸や東シナ海などでも出現量が少なく、来遊の少ない年になるかもしれません。しかし、韓国沿岸での出現が確認され、未確認ながら見島以西での目撃情報も届きつつあることから、引き続き情報収集が必要です。

(大型クラゲ出現情報(JAFIC) <http://www.jafic.or.jp/kurage/index.html> より抜粋)

以上、操業の参考にして頂ければ幸いです。

お問い合わせ先：兵庫県立農林水産技術総合センター但馬水産技術センター(担当：大谷)

TEL：0796-36-0395 FAX：0796-36-3684

email:nouringc\_tajima@pref.hyogo.lg.jp

ホームページ：<http://www.hyogo-suigi.jp/tajima/>

# 平成20年度底びき漁期前調査結果

## 1)調査の目的

底びき解禁前のハタハタ、アカガレイ、エチゼンクラゲ等の分布、体長組成等に関し、情報の収集と提供を行う。

## 2)調査日時

平成20年8月4日および22日

## 3)調査海域

但馬沖から大山沖にかけての水深 180～270m海域 (図1参照)

## 4)使用船舶

兵庫県漁業調査船「たじま」(140トン)

## 5)調査内容

トロール試験操業

図1に示した計5点において、底びき試験操業を実施。

使用漁具: 着底トロール網(H17年8月から使用している網)、  
袋網14節、袖先間隔20m、間口高さ約2.5m、

曳網方法: 曳網速度3knot、30分曳き、操業は日中。

海洋観測

操業前に海底付近までの水温、塩分観測

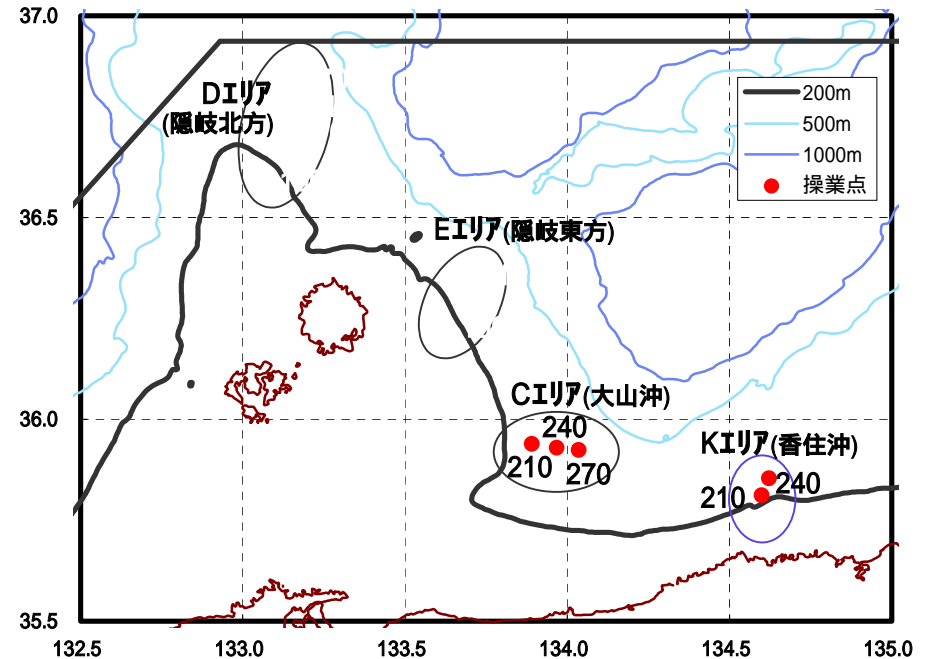


図1 調査実施海域図

表1 2008年底びき漁期前調査における曳網および入網状況

月日	曳網開始時刻	エリア	操業点番号	曳網開始位置		平均曳網水深	天候と雲量	海底水温(°C)	魚種別入網重量(kg)								
				北緯					東経		ハタハタ	アカガレイ	ソウハチ	ヒレグロ	ハイ類	エビ類	エチゼンクラゲ
				度	分				度	分							
8/4	11:02	K	K240	35	51.22	134	37.32	226	曇・10	1.6	0.1	9.6		4.9	76.4	2.1	入網なし
"	12:55		K210	35	48.71	134	35.91	211	曇・10	3.5	0.8	40.5	2.4	4.6	10.2	1.6	入網なし
8/22	10:46	C	C270	35	55.47	134	2.11	276	晴・7	1.3	24.5	0.1		0.1	10.6	0.1	入網なし
"	9:17		C240	35	55.80	133	58.02	247	曇・8	1.8	130.2		0.1		6.6		入網なし
"	7:27		C210	35	56.37	133	53.40	213	晴・7	2.5	84.9	0.1	0.9	0.4	7.2	0.5	入網なし

・曳網面積はいずれも約52000m<sup>2</sup>。

# ハタハタ

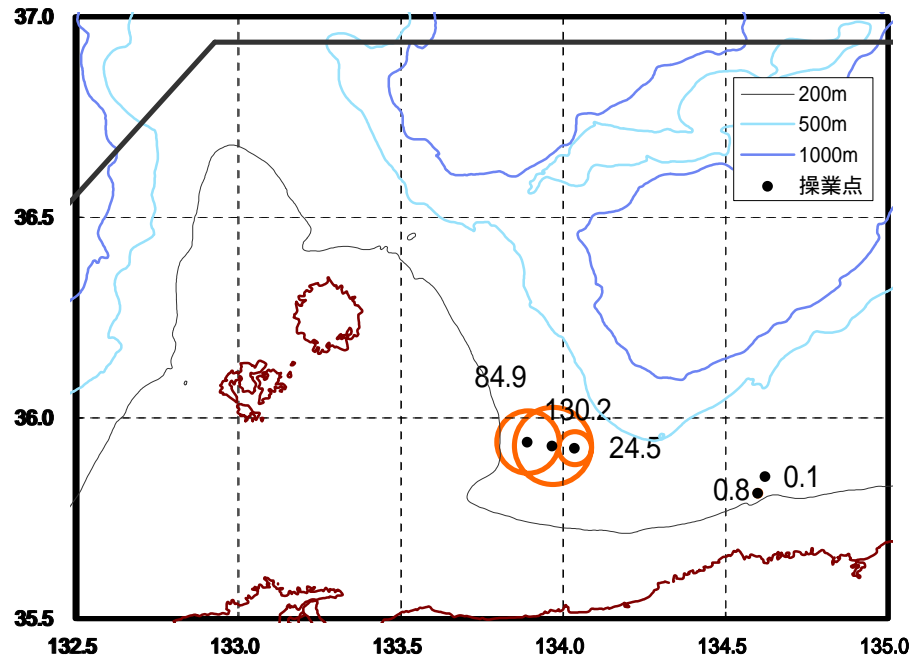


図2 ハタハタ入網重量の分布 (kg/網)

表2 エリア別1曳網当たりハタハタ入網量 (曳網水深166-255m)

単位:kg

年 \ エリア	D	E	C	K	平均
2008	-	-	107.6 (2)	0.5 (2)	54.0 (4)
2007	181.9 (3)	107.1 (2)	209.0 (1)	4.3 (3)	109.1 (9)
2006	70.4 (3)	48.4 (1)	-	3.9 (3)	38.7 (7)
2005	-	70.0 (1)	-	13.8 (3)	27.9 (4)

( )内は操業点数

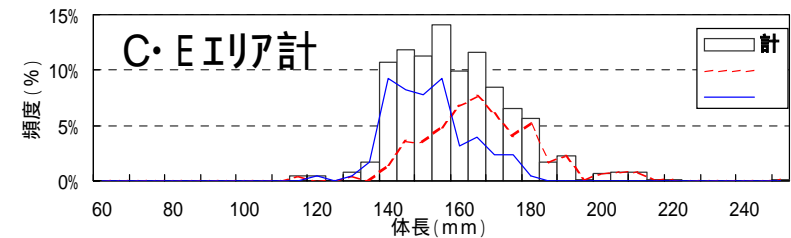
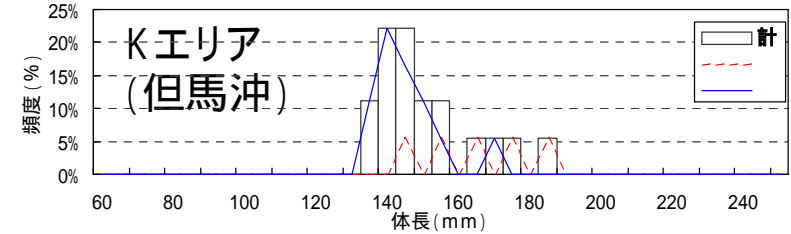
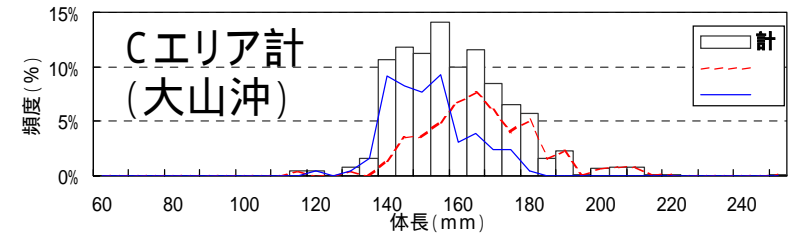


図3 エリア別ハタハタ体長組成

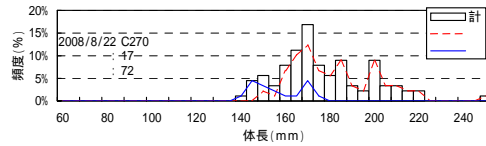
# ハタハタ

調査エリア  
調査水深帯  
(m)

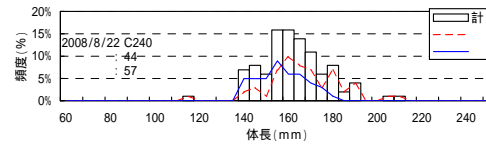
Cエリア(大山沖)

Kエリア(但馬沖)

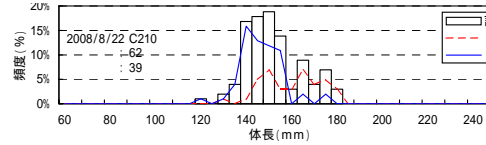
270m



240m



210m



180m

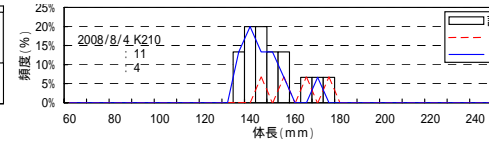
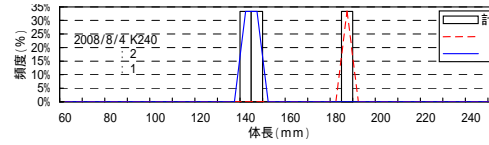
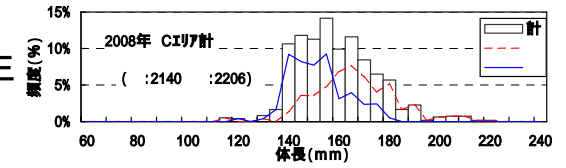
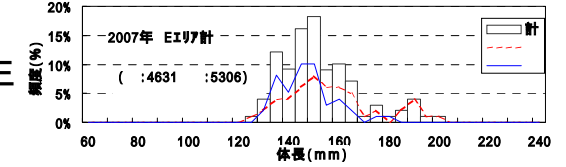


図4 定点別ハタハタ体長組成(2008年)

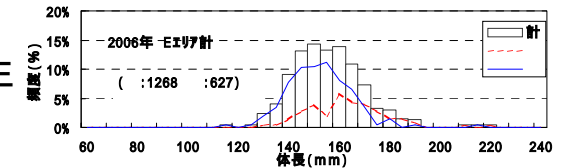
2008年



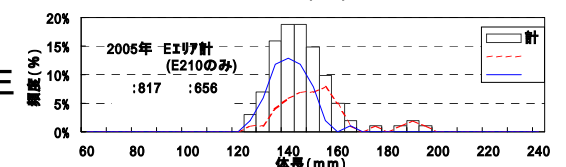
2007年



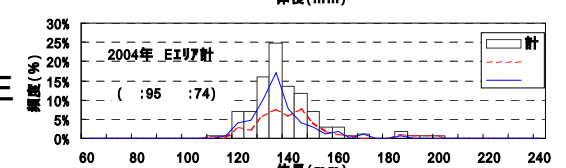
2006年



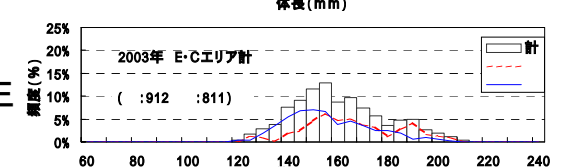
2005年



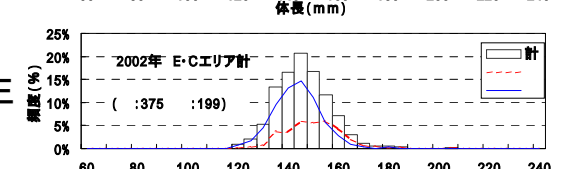
2004年



2003年



2002年



2001年

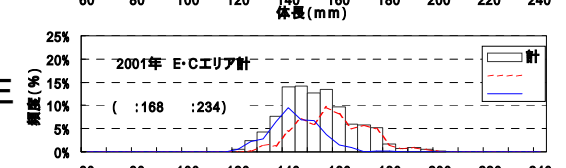


図5 年別ハタハタ体長組成  
(隠岐東方～大山沖)

# アカガレイ

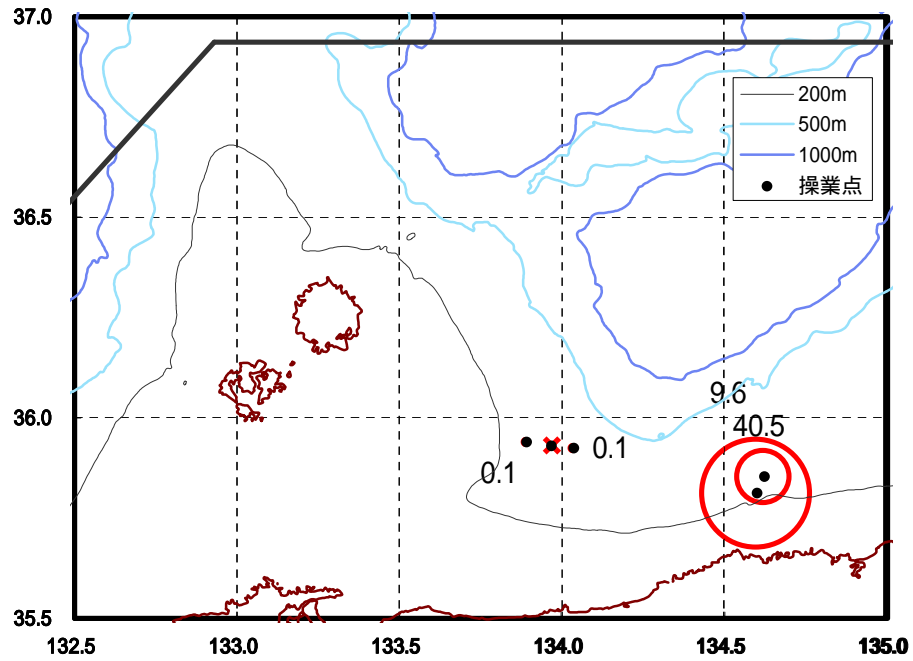


図6 アカガレイ入網重量の分布 (Kg/網)

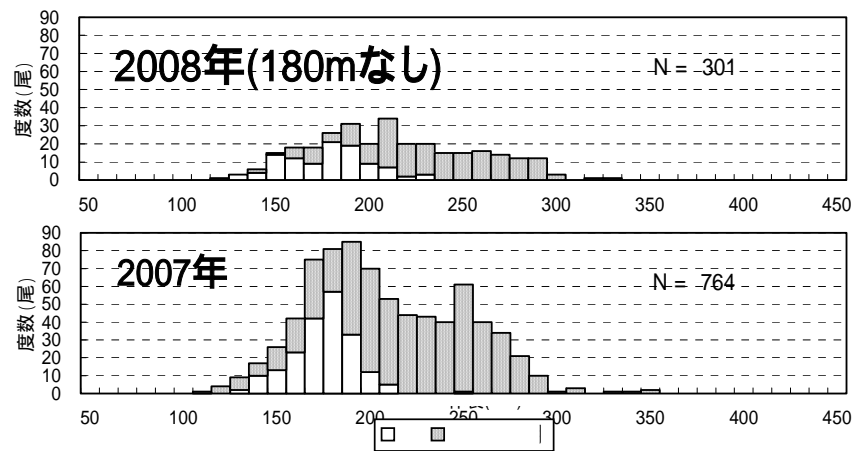


図7 アカガレイ体長組成  
(但馬沖240-180m; 1 曳網当たり)